

「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」の
2023年度取組状況について

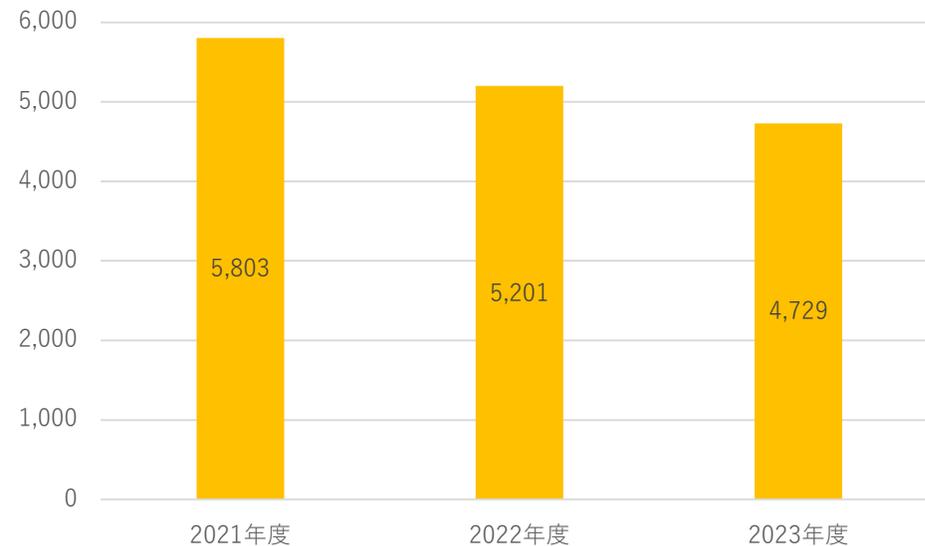
金沢信用金庫

当金庫「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」の取組状況およびKPI（成果指標）の公表における取組方針と対応原則の記載ページは以下のとおりです。

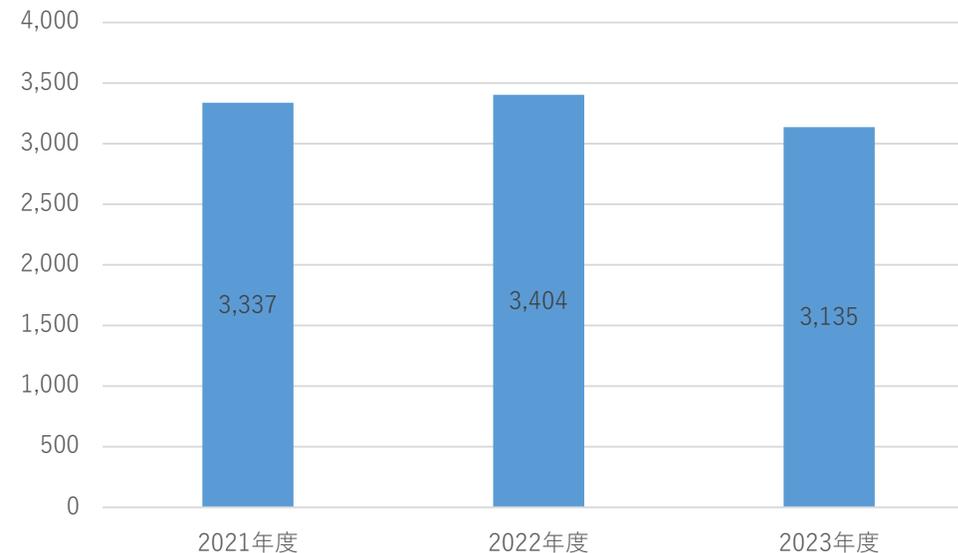
取組方針	対応原則	取組内容 記載ページ
お客さま本位の営業活動の実践状況	-	P2～5
1.お客さまの最善の利益の追求	原則 2 原則 6	P6～7
2.利益相反の適切な管理	原則 2 原則 3	P8～9
3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供	原則 2 原則 4 原則 5 原則 6	P10～12
4.お客さまにふさわしいサービスの提供	原則 5 原則 6	P13～17
5.役職員に対する適切な動機づけの枠組み等	原則 6 原則 7	P18～20
共通KPI	-	P21～P29

- ・当金庫は、2018年3月30日に「お客さま本位の行動宣言」を定め、地域経済の発展と豊かな地域社会づくりへの貢献を経営理念に掲げ、その実現へ向け、お客さま本位の行動に徹し、相互の発展につながる活動の実践を行動指針として定めております。さらに、具体的な取組方針を「お客さまの資産形成および資産運用に関する行動計画」に示し取り組んでおります。
- ・投信残高および利用者数は、利益確定による解約や、新NISA取扱開始に伴う取引金融機関変更等により大幅に減少しております。

投信残高（百万円）



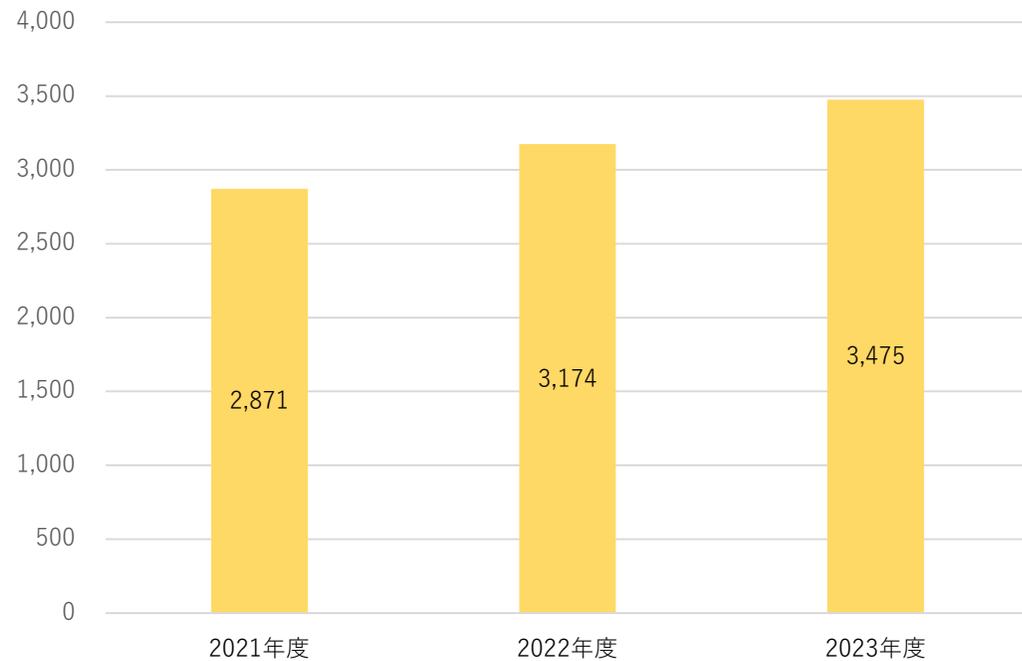
投信利用者数（人）



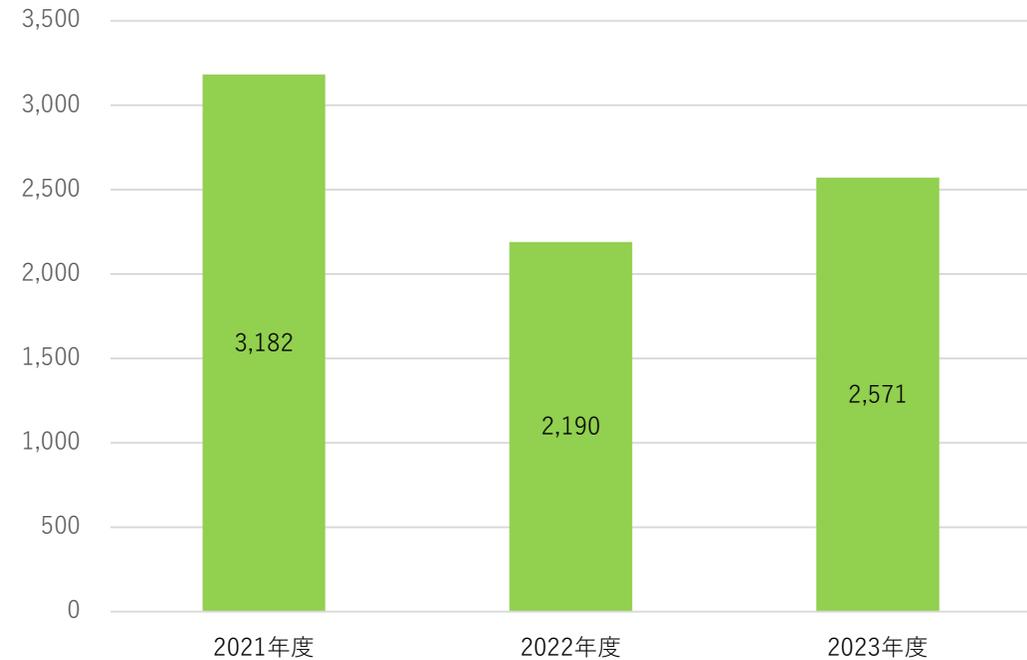
お客さま本位の営業活動の実践状況

- ・ 職域セミナーや店頭において、新NISAの活用による資産形成を啓蒙した営業活動の実践により、投資による資産形成ニーズは高まっています。結果、積立型投信契約件数は増加しており、投信販売額についても増加傾向に転じています。

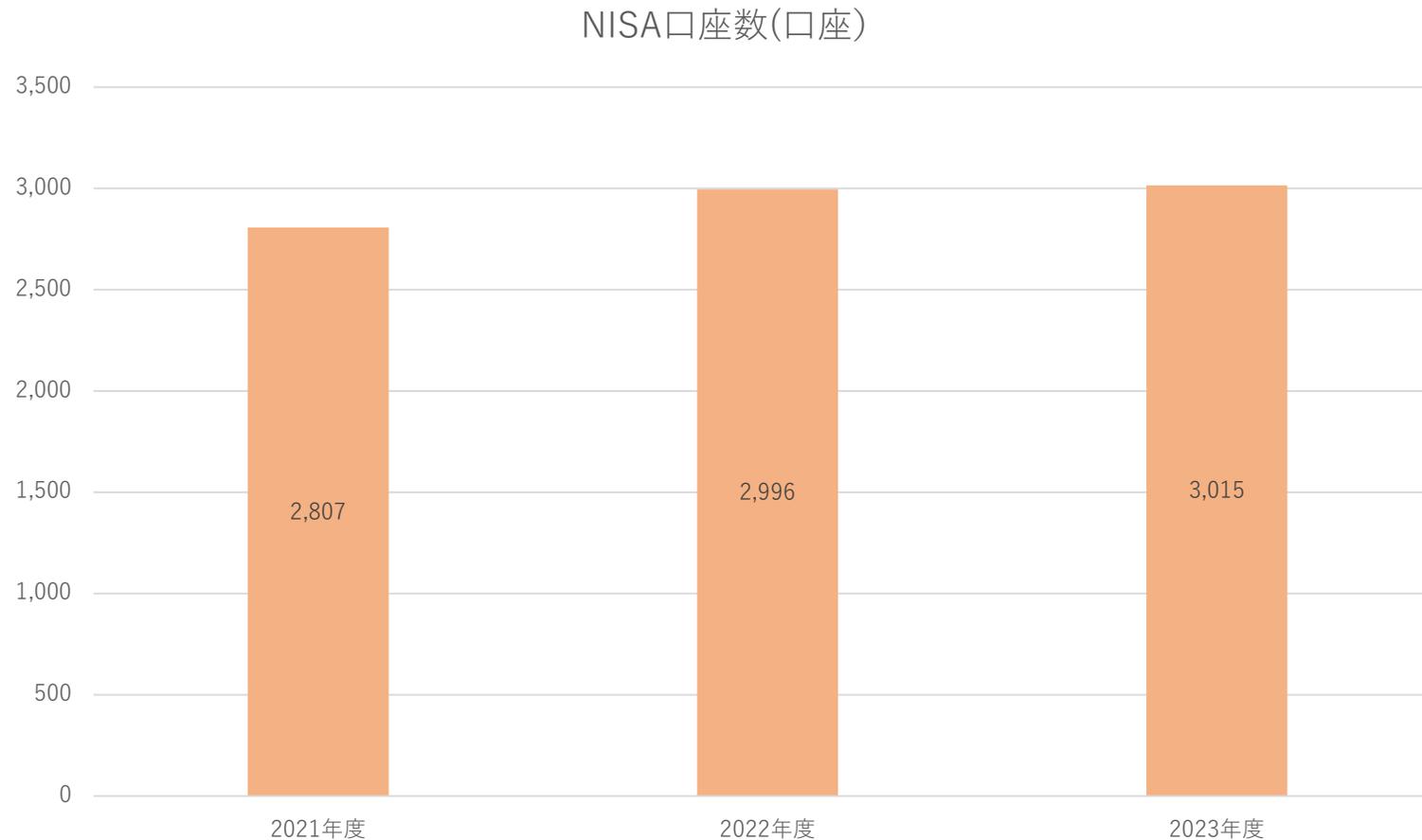
積立型投信契約件数（件）



投信販売額実績（百万円）

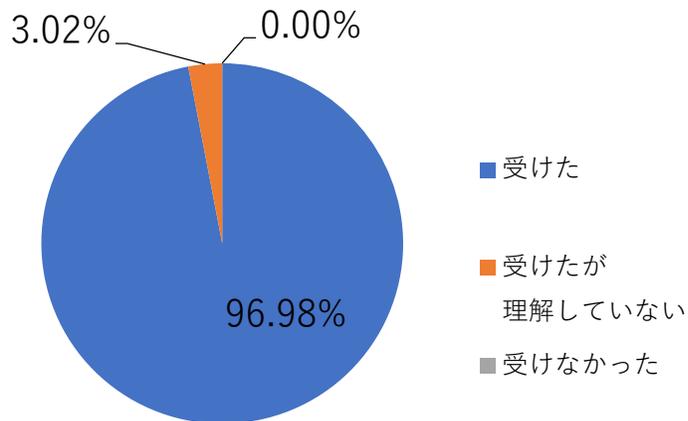


- ・お客さまにおける資産形成や資産運用の関心の高まりを受けて、NISA口座数は増加が続いており、新NISA取扱開始以降も増加傾向が続いております。

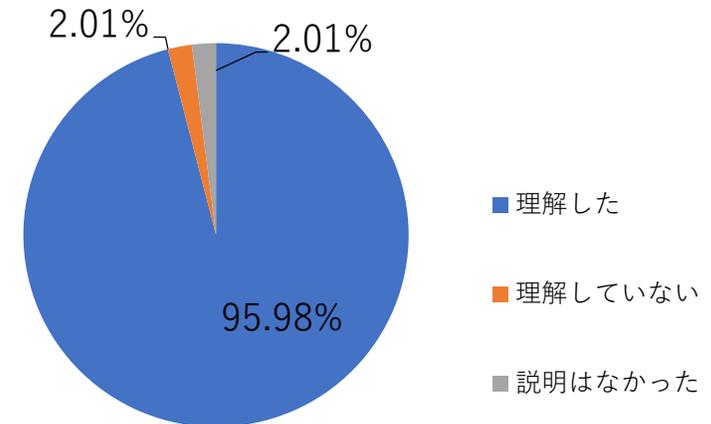


- ・当金庫ではお客さま本位の営業活動の実践状況を確認するため、金融商品をご購入いただいたお客さまを対象に、アンケートを実施しております。
- ・お客さまからのアンケートにより当金庫の活動を客観的に評価していただき、その内容を基にサービスの改善に取り組んでおります。
- ・当金庫では、お客さまに投資商品のリスクや費用等について、十分に説明を行いご納得のうえで購入いただくことを重視しています。当金庫からの説明やご理解に関するアンケートの設問に対しては、お客さまに満足いただける回答をいただいております。
- ・アンケートは配付数1,126件、回収数706件、回収率62.7%となっております（2024年3月）。

関連する経済や市況、将来の見通しについて
説明を受けましたか？



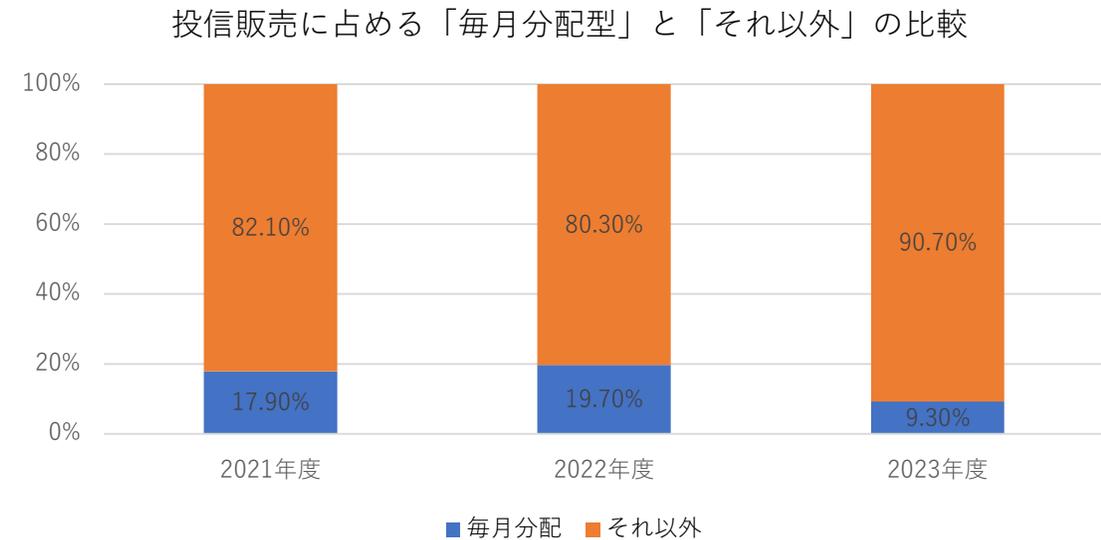
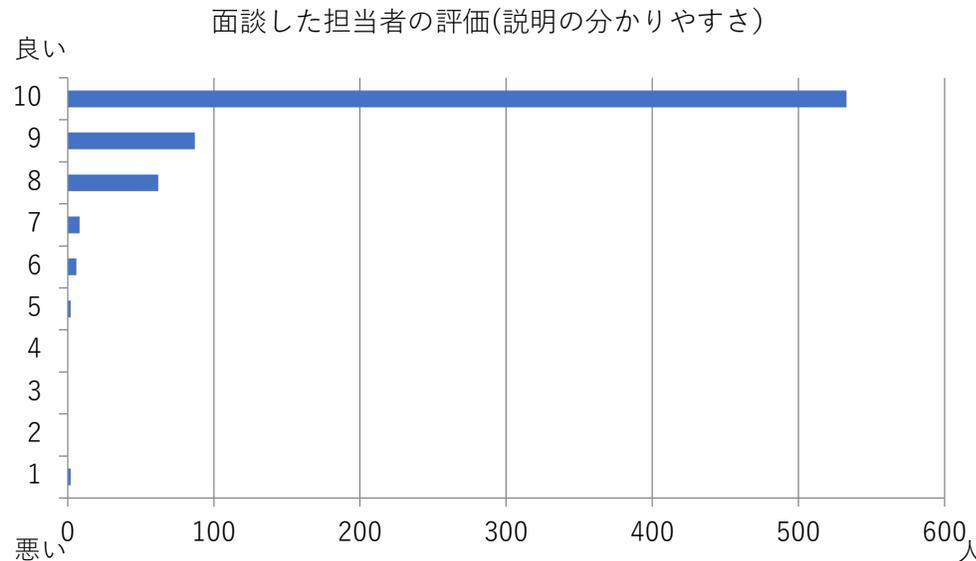
分配金による基準価額の下落、「分配≠収益」といった
説明について、ご理解いただけましたか？



1.お客さまの最善の利益の追求 (原則2,6)

(1) 商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況やライフプランの考え方を共有し、お客さまに寄り添ったコンサルティングを通して、最適な商品・サービスの提供を行います。

- ・お客さまの情報や資産運用のご意向・目的をお聞きし、お客さま一人ひとりのニーズを確認して適切な金融商品およびサービスを提供しております。
- ・お客さまからは、「知識、財産に応じたわかりやすい説明が行われています」との評価をいただいております。
- ・お客さまの中長期的な資産形成を実現するために相応しい商品・サービスの提供を実施してきた結果、「毎月分配型」の割合は減少傾向となっております。



1.お客様の最善の利益の追求 (原則2,6)

(2) お客様の多様なニーズに対し適切な商品のご提案ができるように、幅広い商品のラインナップを揃え定期的に見直しを行います。

- ・資産形成層のお客様の幅広いニーズにお応えするため、投信インターネットサービスの専用商品として新たに3商品を導入しました。
- ・新NISAの取扱いに対応するため、「NISA つみたて投資枠」の対象商品8商品について、新たに「NISA 成長投資枠」および「特定口座」における取扱いを可能としました。
- ・投信インターネットサービスにおいては、専用商品（12商品）に加え、窓口取扱商品（28商品）の取扱いを可能としたため、「NISA 成長投資枠」の対象商品は30商品になりました。
- ・今年度新規導入または見直しを行った商品は、右図のとおりですが、詳しくは当金庫ホームページ内の「投資信託基準価額一覧表」をご覧ください。

【投信インターネットサービス専用新規導入商品】

商品名	分類	投信会社
ダイワ・インド株ファンド 愛称:パワフル・インド	海外 株式	大和アセット マネジメント
グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	海外 株式	日興アセット マネジメント
たわらノーロード 全世界株式 ※	海外 株式	アセット マネジメントOne

【2024年2月から「つみたて投資枠」「成長投資枠」「特定口座」取扱い可能商品】

商品名	分類	投信会社
iFree S&P500インデックス	海外 株式	大和アセット マネジメント
たわらノーロード 日経225	国内 株式	アセット マネジメントOne
たわらノーロード TOPIX	国内 株式	アセット マネジメントOne
たわらノーロード 先進国株式	海外 株式	アセット マネジメントOne
たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>	海外 株式	アセット マネジメントOne
たわらノーロード 新興国株式	海外 株式	アセット マネジメントOne
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	バランス	アセット マネジメントOne

※「つみたて投資枠」もご利用できます。

2.利益相反の適切な管理(原則2,3)

(1) お客様の利益が不当に害されることがないように、当金庫が別に定める「利益相反管理方針」に基づき、適切な管理を行います。

- 当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、当金庫が定める利益相反管理方針および庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理しております。
- 当金庫の「利益相反管理方針」につきましては右掲載「利益相反管理方針の概要」のとおりですが、当金庫ホームページ内にも掲載しておりますので、併せてご確認ください。

利益相反管理方針の概要

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針および当金庫が定める庫内規則に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

令和4年9月28日
金沢信用金庫

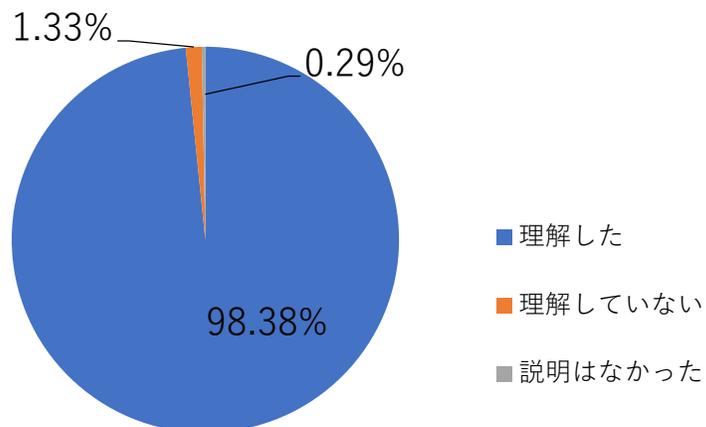
- 当金庫は、当金庫および株式会社ソフトバンク金沢（以下、総称して「当金庫等」といいます。）がお客さまと行う取引を対象として利益相反管理を行います。
- 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
 - 次に掲げる取引のうち、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまと行う取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまと対立または競合する相手と行う取引
 - 当金庫等が契約等に基づく関係を有するお客さまから得た情報を不当に利用して行う取引
 - ①から③のほかお客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引
- 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、またこれらを組み合わせることにより管理します。
 - 対象取引を行う部門とお客さまとの取引を行う部門を分離する方法
 - 対象取引またはお客さまとの取引の条件または方法を変更する方法
 - 対象取引またはお客さまとの取引を中止する方法
 - 対象取引に伴い、お客さまの利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客さまに適切に開示する方法
- 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置および責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定および利益相反管理を一元的に行います。
また、当金庫は、利益相反管理について定められた法令および庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修を行います。
- 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性および有効性について定期的に検証します。

以上

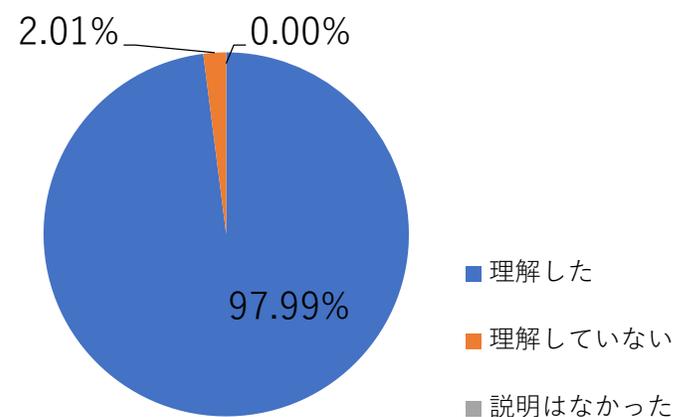
(2) 金融商品の販売時には、販売手数料の多寡にかかわらず、お客さまに適切な商品の提案を行います。

- ・当金庫ではお客さまにご納得いただける商品・サービスの提供に努めております。
- ・商品説明における費用面の説明については、多くのお客さまから説明を受けたとの評価を頂戴しております。一方、少数ではありますが、説明を受けていないという評価も頂戴しております。
- ・なお、商品説明に関する各種リスクおよび費用面について、お客さまにご理解・ご納得いただける体制を整備するため、2024年度は外部講師を招いた研修の開催を予定しており、継続的に職員の教育を実施してまいります。

換金・解約時にどのような制限や不利益があるかの説明について、ご理解いただけましたか？



投資信託の費用面について、「購入手数料」や「信託報酬」がいくらかかるかといった説明についてご理解いただけましたか？

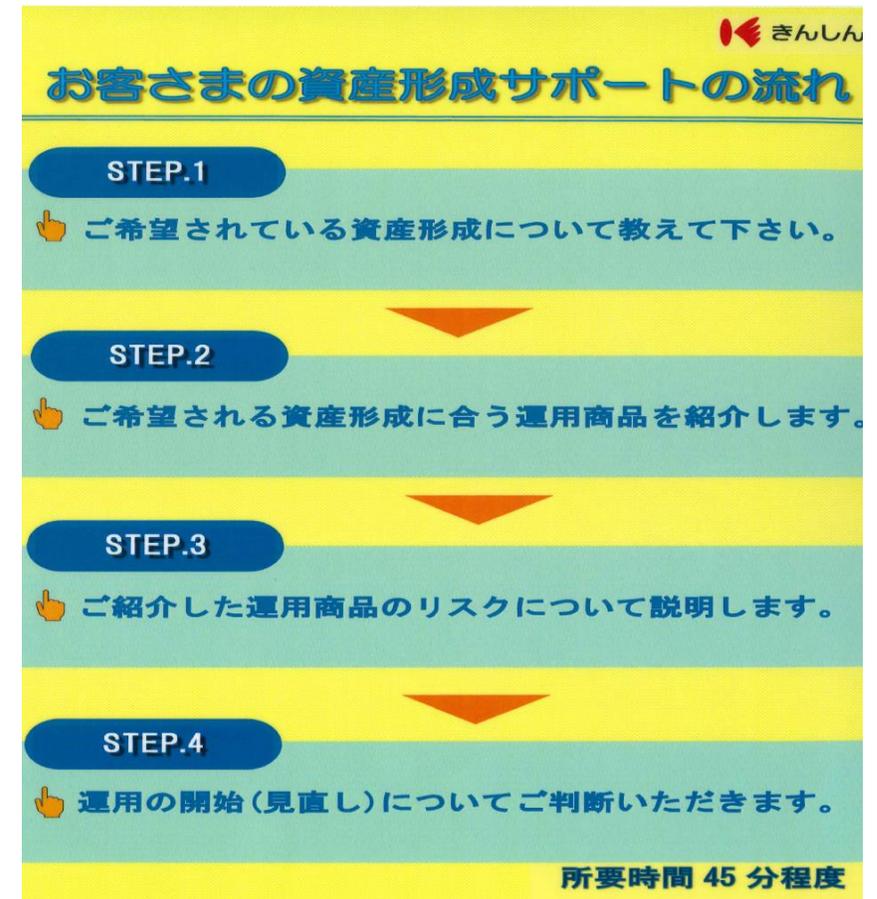


3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供(原則2,4,5,6)



(1) お客様に販売・奨励する金融商品については、お客様の取引経験や金融知識に配慮のうえ、コンサルティングツール等を用いてお客様のご理解を確認しながら分かりやすい説明を行います。

- ・当金庫ではお客様に資産形成や資産運用をサポートする際には、「お客様の資産形成サポートの流れ」(右図)をお客様に明示し、一通りの説明が終わるまでの所要時間(45分程度)をお伝えしております。
- ・お客様へ説明を行うときは、STEP1からSTEP4まで順番に行い、各STEPが終了した際やその都度、お客様の理解を確認しながら進めております。
- ・お客様に説明する場合には「マネープランガイド」や「預かり資産ナビのコンサルティングツール」を用いて図解を交えながら分かりやすい説明を実施しております。
- ・お客様からは「ご契約した金融商品について後日情報提供(アフターフォロー)があるかの説明をうけたか」や「面談の所要時間の説明をうけたか」のアンケートについて高い評価を頂戴しております(P14のグラフを参照ください)。



3.手数料等の明確化および重要な情報の分かりやすい提供(原則2,4,5,6)



(2) お客さまにご負担いただく手数料、その他費用等につきましては、正しくご理解いただくため、重要情報シート等を用いて説明を行います。

- 当金庫では、お客さまにご負担いただく手数料、その他費用等につきまして、正しくご理解いただくために重要情報シートを活用しております。
- 現在取扱い中の特定保険商品(外貨建保険商品) 5商品については重要情報シートを作成し、説明を行っております(右掲載は見本)。
- 重要情報シートにつきましては、当金庫ホームページ内の“相談する「保険商品」”に対象商品が記載されておりますので、そちらをご覧ください。
- 投資信託商品につきましては、投信インターネッサービスからの購入が全体の74%を占め、窓口でのお取扱いが減少傾向にあるため、重要情報シートの具体的な活用方法を含め、慎重に検討を進めてまいります。

～重要情報シート(見本)～

2024年10月版
重要情報シート

販売会社：金沢信用金庫

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みに関しては、「商品概要書」、「契約締結前交付書面(契約概要/注意事項/重要情報)」等、商品パンフレット、「募集」または「募集要項」、「ご契約のしおり-本数・約款」等も必ずお読みください。

この商品は日本生命を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

1. 商品等の内容(当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

金融商品の名称・種類	ロングプライムGOLD 3 <ロイヤリティ型固定資産運用型一時払終身保険(米ドル建・豪ドル建)>
組成会社 (引受保険会社)	日本生命保険相互会社
販売委託元	
金融商品の目的・機能	<p>【目的】 - 外貨の金利を活用して積立金をふやし、将来は大切な方へ資産を「のこす」か、ご自分で「つかう」かを選択できる外貨建の終身保険です。</p> <p>【機能】 - 指定通貨を米ドルまたは豪ドルより選択できます。 - 告知不要で15歳から90歳まで加入できます。 - 被保険者が亡くなったとき、指定通貨で一時払保険料以上の死亡保険金をお支払いします。以下の2つのタイプより選択できます。 ①「ふやすタイプ」 - 積立利率にしたがって、積立金をふやします。 - 解約払戻金の円換算額に目標金額を設定することができます。 - 目標金額に到達したとき、「のこすコース(円建終身保険)」に移行します。 ②「つかうタイプ」 - 契約の当日に被保険者が生存しているとき、毎年定期支払金をお支払いします。 - 将来、「のこすコース(円建終身保険)」または「つかうコース(円建年金)」に移行できます。</p>
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>この商品は、まとまった資金を長期にわたり運用しながら、終身にわたる死亡保障を準備したい方を念頭に組成しています。 - 日本生命が設定した所定の利率にもとづきリスクを抑えた運用を行いますが、為替変動リスク、金利変動リスクがあるため、それらに伴う元本割れを許容できる方を想定しています。 - 併せて、外国金利・為替と外国債券評価額の関係を理解でき、当面の生活資金を確保している方を想定しています。</p> <p>(5年超の長期で運用期間を確保できる方を想定しています。長期の保有を想定して組成している商品のため、契約日から解約日までの期間が短い場合、運用による成果が十分に得られなかったり、元本割れする可能性が高まったりするため、十分ご留意ください。また、解約により保障も失われます。)</p>
パッケージ化の有無	<p>この商品は、外貨での「運用」機能と、「保障」機能を組合せた商品です。 - 他の金融商品を個別に購入することにより、全く同一の機能は得られないものの、類似の機能を導かれる可能性があります。 - 詳細については、必ず各金融商品の契約締結前交付書面(契約概要/注意事項/重要情報)やご契約のしおり、商品パンフレット等をご確認ください。</p>
クーリング・オフの有無	<p>クーリング・オフの適用があります。ご契約の申込日または注集喚起情報を受取った日のいずれか遅い日からその日を始めて8日以内であれば、書面または電磁的記録によるお申し出により、ご契約のお申込みの撤回またはご契約の解除をすることができます。</p>

(3) 投資信託や特定保険商品をご契約いただいたお客さまには、ご契約後も継続的なアフターフォローを通して、お客さまの安定的な資産形成にお役に立てるよう、情報の提供を行います。

- ・当金庫では、商品・サービスのご提供後も、アフターフォローを通して、お客さまのライフステージなどの状況確認や適時適切な情報提供を行っております。
- ・投資信託をご利用いただいているお客さまには一年間で2回以上、特定保険商品をご契約されたお客さまにはご契約いただいてから一年以上経過した時点でアフターフォローを実施し、昨年一年間では3,051先のお客さまにアフターフォローを実施しました。
- ・これからも、ご契約いただいたお客さまにアフターフォローを通して、ライフステージなどの状況確認や適時適切な情報提供を行いながら、お客さまと一緒に資産形成や資産運用について考えてまいります。

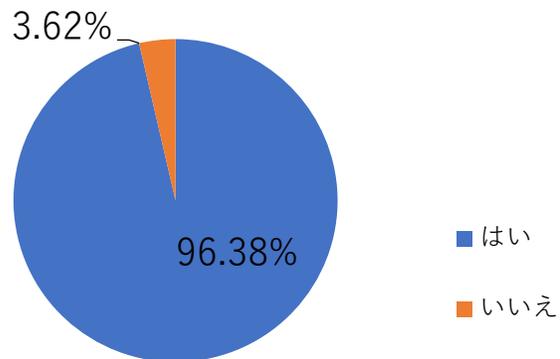
4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(1) お客さまのライフプランや資産形成、運用に対する考え方をお聞きし将来にわたる潜在的ニーズを把握、共有したうえで、お客さまに適切かつ必要な商品を慎重に検討しながら、お客さまに信頼されるコンサルティングを行います。

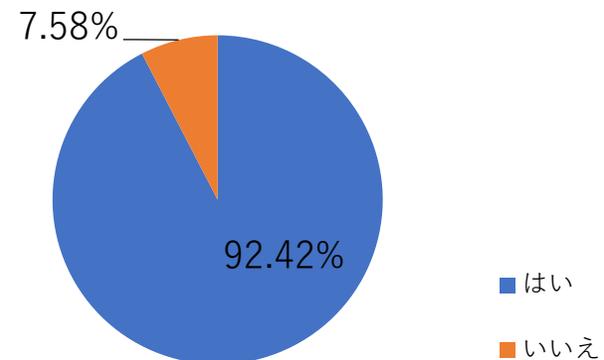
- ・当金庫では、「お客さまの資産形成サポートの流れ」(P10)に沿って、STEP1～STEP4のプロセスを経て、お客さまへコンサルティングを行っております。
- ・運用に対する考え方をお聞きし、将来にわたる潜在的ニーズを把握、共有したうえで、お客さまに適切かつ必要な商品を慎重に検討しながら、個別商品の説明を適切に行っております。
- ・次ページ(P14)のアンケート結果のとおり、商品説明を行った結果についてお客さまからは高い評価を頂戴しております。
- ・引き続き、「お客さまの資産形成サポートの流れ」に沿った活動を実践し、お客さまから信頼されるコンサルティングを行ってまいります。

4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

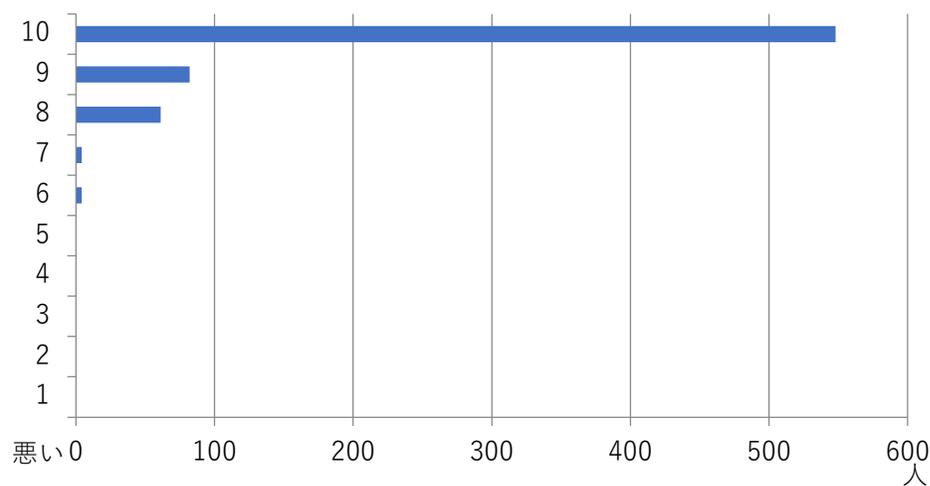
ご契約した金融商品について後日情報提供
(アフターフォロー) があるかの説明を受けましたか？



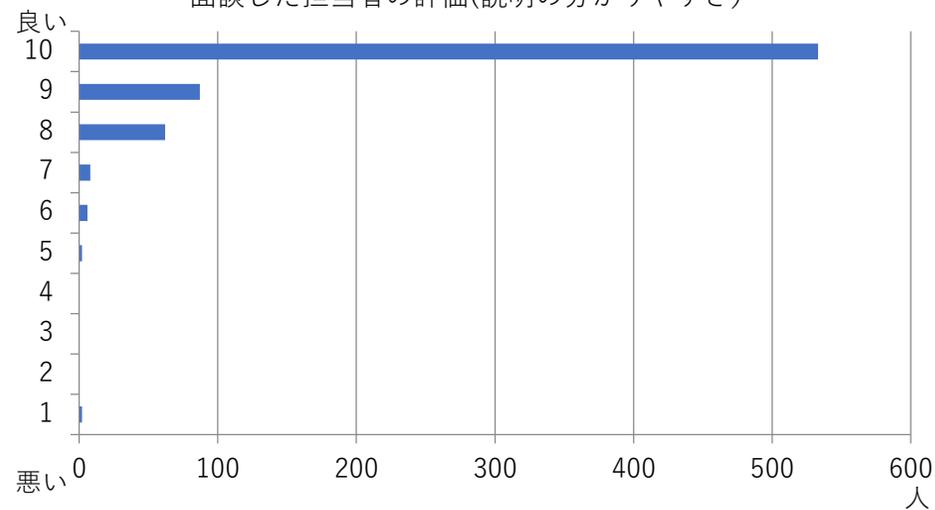
面談において、所要時間の説明を受けましたか？



良い 面談した担当者の評価・(声の大きさ・話の聞き取りやすさ)



面談した担当者の評価(説明の分かりやすさ)



4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(2) コンサルティングツール等を活用し、シミュレーションや図表等を用いて、お客さまのライフプランに合わせたコンサルティングを行います。

- お客さまの多様化するニーズにお応えするため、また、お客さまの将来のライフイベントと一緒に共有させていただくため、「預かり資産ナビのコンサルティングツール」等を活用したコンサルティングを行える職員の育成に取り組みました。
- 2023年度は職員の育成を目的とした以下の研修を行いました。
 - ①新NISAの啓蒙活動を行い、その際に運用の必要性を訴える提案事例やキャッシュフロー作成事例を中心に動画研修を行いました。
 - ②コミュニケーションのポイントを習得し実践するコミュニケーション研修を対面で行いました。
- 結果、一年間でライフプランシミュレーション作成数は829件となりました。



これからのマネープランを作ってみませんか?

いつも金沢信用金庫をご利用いただきありがとうございます。

「これからの人生で、何に、いくら、お金が必要なだろう…」そんな将来のお金について、なんとなく感じる不安はございませんか？
金沢信用金庫のライフプランシミュレーションでは、お客さまの声を聴きながら、そんな漠然とした不安のタネを『見える化』します。

どの年代のお客さまにおかれましても、これから必要となるお金を知ること、早すぎることも遅すぎることもございません。
まずは、お近くの金沢信用金庫の窓口でご相談されてみてはいかがでしょうか。

～ さんしんバンキングアプリのご案内 ～

ご自宅でも外出先でも口座開設や残高確認が可能！
便利な「さんしんバンキングアプリ」のダウンロードはお済みですか？

App Store | Google Play

金沢信用金庫店舗案内はこちら

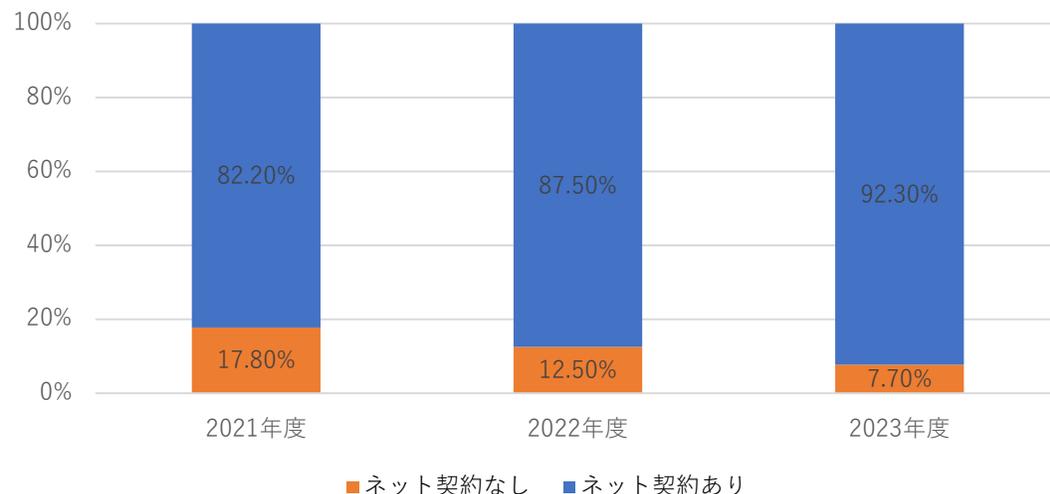


4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

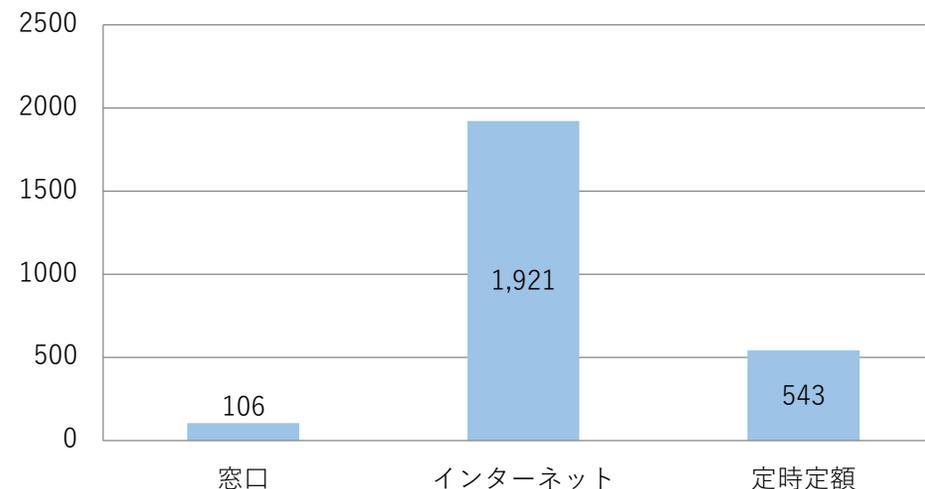
(3) 投資経験が十分なお客さまや、窓口にご来店が困難なお客さまには、投信インターネットサービス等をご提供します。

- ・投信インターネットサービスは窓口に来店が不要で、お客さまのタイミングで投資信託の購入や売却ができるサービスです。近年はスマートフォンの普及もあり、急速に利用が増加しております。
- ・投信インターネットサービスのチャンネル別販売額は、投信インターネットサービスからの購入が全体の約74%を占めております。

投信口座開設先に占める投信インターネットサービス契約の割合



チャンネル別販売額 (百万円)



4.お客さまにふさわしいサービスの提供(原則5,6)

(4) 商品のラインナップは、リスク・リターンの高い商品だけでなく、初めて金融商品をご検討されるお客さまや、ご高齢のお客さまの幅広いニーズにお応えできるように見直しを行います。

- ・当金庫では、お客さまの多様なニーズにお応えするため、外部機関のアドバイスやお客さまの声を参考に、ラインナップの見直しを行いました（詳しくはP7を参照ください）。
- ・運用効率が良い純資産額の多いテーマ型の商品や資産形成に適した商品およびノーロードの商品を新たに3商品導入しました。
- ・新NISAにかかる幅広いニーズに対応するため、「NISAつみたて投資枠」対象の8商品については、「NISA成長投資枠」および「特定口座」での取扱いを可能としました。
- ・今後も、初めて金融商品をご検討されるお客さまや、ご高齢のお客さまなどの幅広いニーズにもお応えできるようにラインナップの見直しを定期的に行います。

※当金庫は、パッケージ商品の販売は行っておりません。

※当金庫は、金融商品の組成に携わる金融事業者には該当いたしません。

5. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等(原則6,7)

(1) 「お客さま本位」の考え方を全役職員に周知し、企業文化として定着させるため、研修等を通じ全役職員に本取組方針の理解と実践を促します。

- ・ 投資信託や個人年金保険等の提案・販売を行うための専門的な知識やスキルを身に付ける研修を受講し、修了した職員を当金庫ではマネーアドバイザー (MA)と認定しております。
- ・ これまで、個人営業担当者を中心にMAを認定してきましたが、資産形成や資産運用ニーズの高まりや金融リテラシー向上を背景として、MAを資格制度として創設しました。
- ・ この制度は特定の研修を受講することでMA資格を取得でき、資格を持った職員でなければお客さまへ元本の保証のない商品の説明をできないこととしております。
- ・ 2023年度はMA資格未保有の本部職員、入庫2年目職員、前年度未受講者等71名を対象とした4回シリーズの研修を実施いたしました。



～MA研修の様子～

5. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等(原則6,7)



(2) 販売担当者の資質向上のため、定期的に職員研修を実施します。また、『ライフシミュレーション』により、お客さまの資産形成・資産運用を支援し、人生により添ったコンサルティングが行える人材を継続的に育成します。

- ・販売に必要な知識や考え方を身に付けるため、当金庫では『スキル確認』と称した職員研修を毎月実施しております。
- ・『スキル確認』は、販売に必要な基本的な知識や考え方を身に付けるコース（S t a g e 1）と販売の実践に必要な知識や考え方を身に付けるコース（S t e g e 2）の2つのコースがあります。
- ・まず、販売担当者はS t a g e 1の習得を目指し、完了してからS t e g e 2の習得を実施しております。
- ・この『スキル確認』を毎月実施し、販売担当者全員の資質向上に努めております。
- ・その他の取組みとして、職員の販売プロセス向上を目的として、外部機関を活用した第三者からの客観的評価を頂戴し、サービス向上に努めております。
- ・2024年2月に5店舗の職員を対象に実施し、その結果を踏まえて次年度の施策に反映させております。
- ・また、お客さまの多様化するニーズにお応えするため、また、お客さまの将来のライフイベントを一緒に共有させていただくため、預かり資産ナビのコンサルティングツール等を活用したコンサルティングを行える職員の育成にも取り組んでおります（P15参照）。
- ・今年度以降も同様の研修を継続して実施し、預かり資産ナビのコンサルティングツール等を活用したコンサルティングを行える職員の育成を行ってまいります。

(3) 職員の評価に関しましては、お客さまからのアンケートによる客観的評価に基づきFDの取り組み状況を評価項目に取り入れていきます。

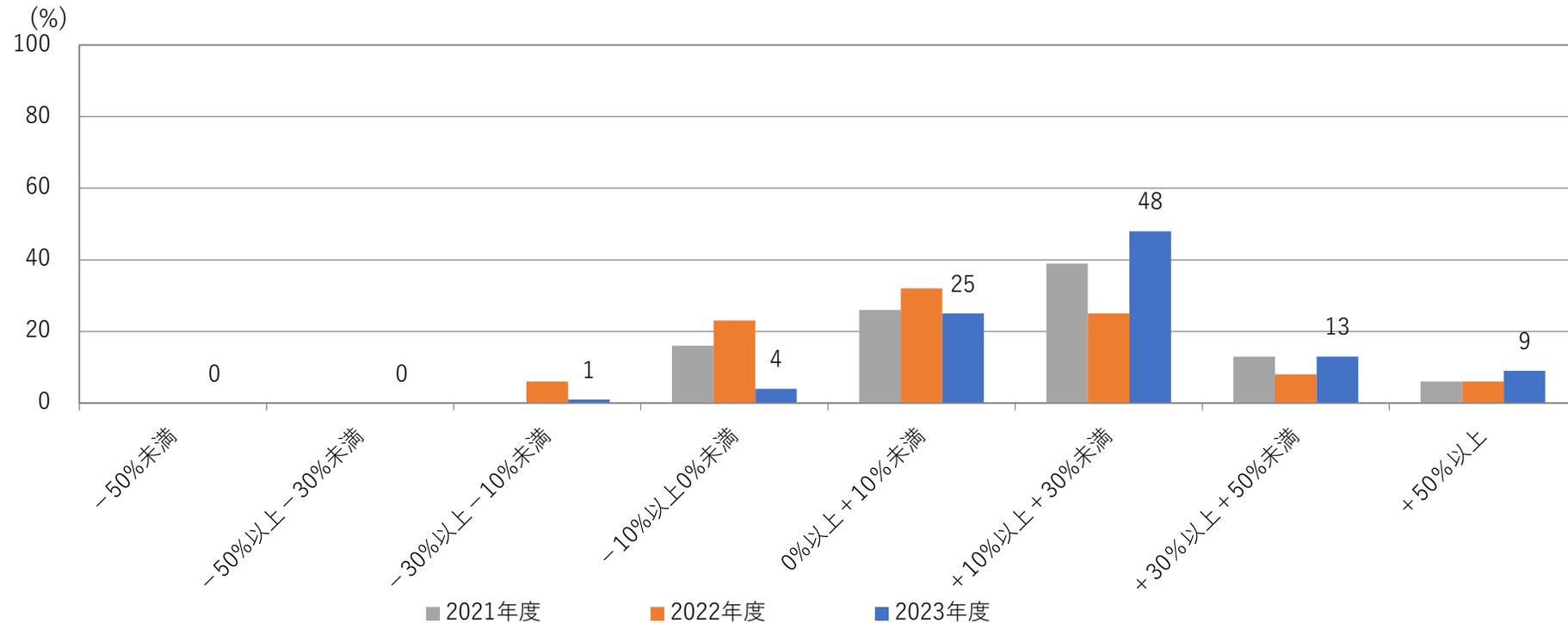
- ・お客さまから頂戴しているアンケートの配付数や回収数を販売担当者のプロセス評価項目に取り入れることで、FD（フィデューシャリー・デューティー）に基づいた活動が出来ているかを評価しております。
- ・当金庫が実施しておりますアンケートは、FD（フィデューシャリー・デューティー）の観点に基づき、「お客さまの資産形成サポートの流れ」を明示し、その流れに沿った活動ができているかをお客さまからの客観的評価として頂戴しております。
- ・この活動を通して、お客さまからは様々なお声を頂戴しております。

～お客さまからの声（抜粋）～

- ・「西金沢支店」開設当初からの長いお付き合いです。その時々の方員の皆様には何くれとなくお世話になり忘れることのできない歳月でした。この度は貴重なアドバイスをいただきありがとうございました。これを機会にもうしばらくのお付き合いと適切なアドバイス等いただけたらありがたく思います。どうぞよろしくお願い致します。
- ・以前からお世話になっていた担当の●●さんへ何度も説明をお願いしました。〇〇さんと●●さんと一緒に丁寧に説明していただき、「今後も分からないことがあったら声をかけてください」と言われ、安心して取引ができました。
- ・とてもわかりやすく丁寧に説明してくださいました。とても勉強になり、将来の設計がたてやすくなりました。詳しく説明して頂いてよかったです。
- ・●●さんはいつも丁寧に親切でわかりやすく説明をされてます。ほったらかしではなく、早めにアクションをいただきとても助かっております。

(共通KPI)投資信託の運用損益別顧客比率

- ・当金庫で投資信託を保有しているお客さまの運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。
- ・運用損益がプラス（0%以上）のお客さまは約95%でした。

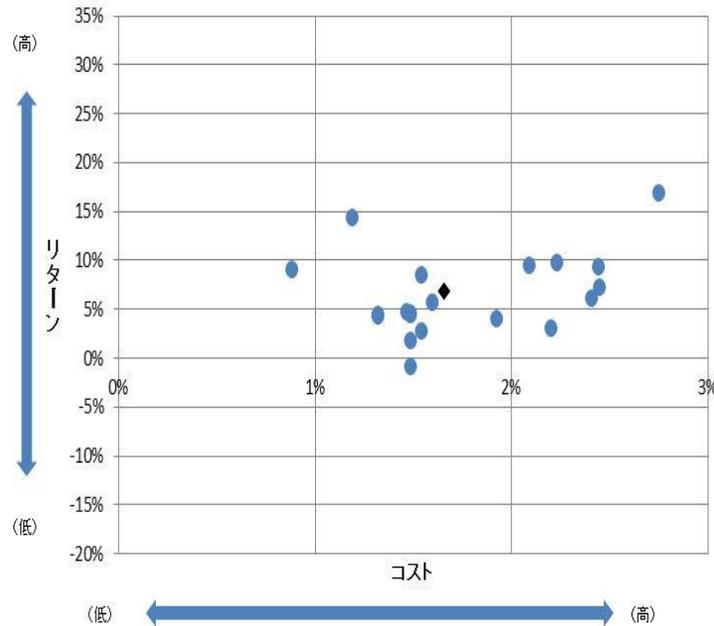


(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

【2021年度】

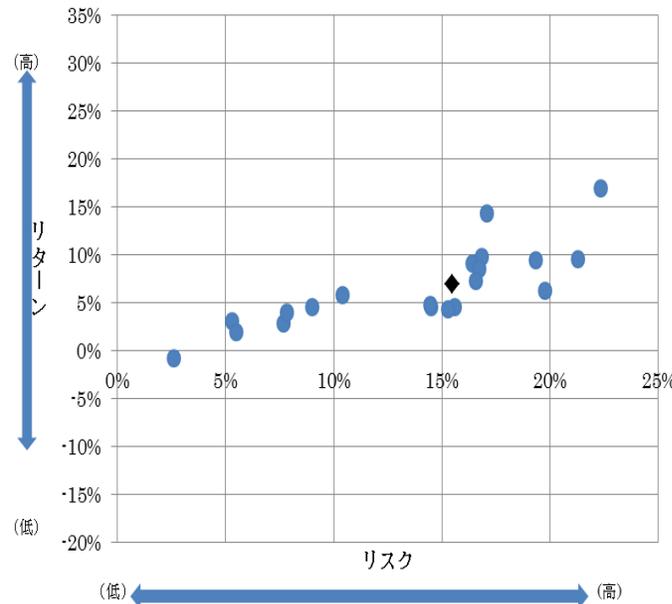
【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

<コスト・リターン>



残高加重 平均値	コスト	リターン
	1.65%	6.89%

<リスク・リターン>



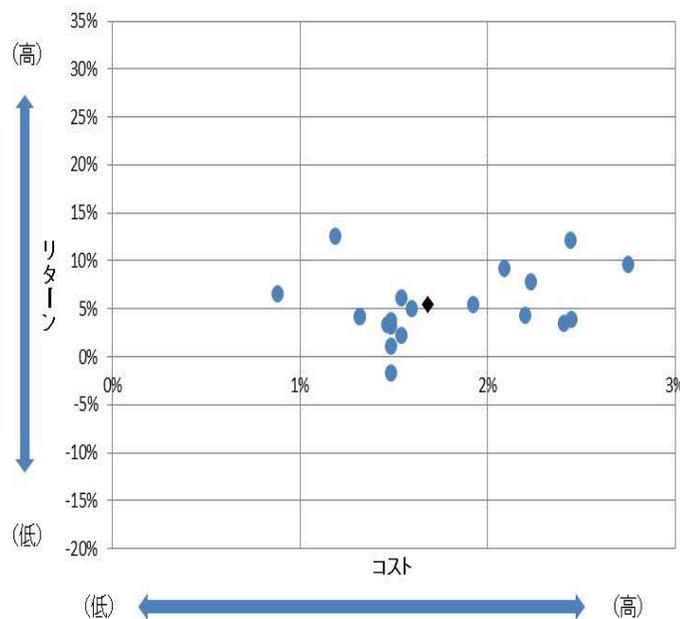
残高加重 平均値	リスク	リターン
	15.49%	6.89%

	ファンド名
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)
2	しんきんインデックスファンド225
3	新光US-REITオープン
4	明治安田米国中小型成長株式ファンド
5	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)
6	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
7	三井住友・グローバル・リート・オープン
8	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)
9	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)
10	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
11	しんきんアジアETF株式ファンド
12	しんきん好配当利回り株ファンド(3ヵ月決算型)
13	ニッセイ/パトナム・インカムオープン
14	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
15	しんきん世界アロケーションファンド
16	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)
17	しんきんJリートオープン(1年決算型)
18	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
19	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)
20	しんきん好配当利回り株ファンド

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

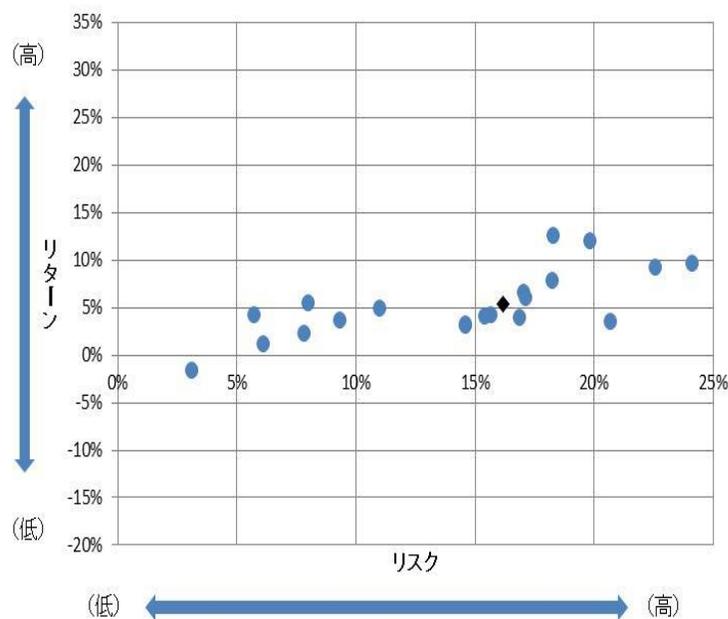
【2022年度】

<コスト・リターン>



残高加重 平均値	コスト	リターン
	1.68%	5.41%

<リスク・リターン>



残高加重 平均値	リスク	リターン
	16.17%	5.41%

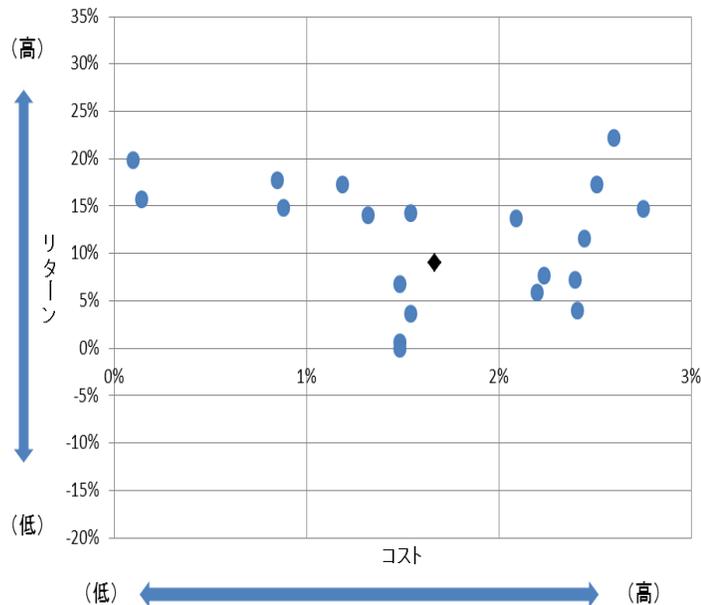
【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

	ファンド名
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)
2	しんきんインデックスファンド225
3	明治安田米国中小型成長株式ファンド
4	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)
5	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
6	新光US-REITオープン
7	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3カ月決算型)
8	三井住友・グローバル・リート・オープン
9	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)
10	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
11	しんきんアジアETF株式ファンド
12	しんきん好配当利回り株ファンド(3カ月決算型)
13	ニッセイ/パトナム・インカムオープン
14	しんきん世界アロケーションファンド(積極型)
15	しんきん世界アロケーションファンド
16	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
17	しんきんJリートオープン(1年決算型)
18	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)
19	しんきん好配当利回り株ファンド
20	しんきんアジア債券ファンド(毎月決算型)

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

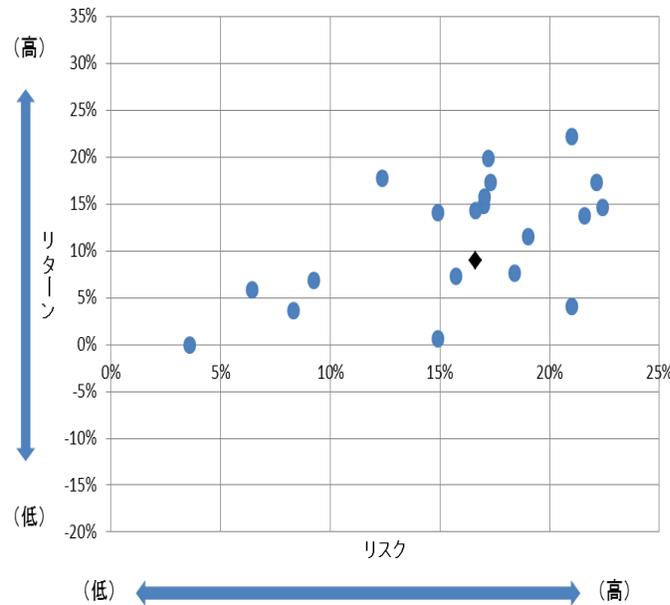
【2023年度】

<コスト・リターン>



残高加重 平均値	コスト	リターン
	1.67%	9.01%

<リスク・リターン>



残高加重 平均値	リスク	リターン
	16.63%	9.01%

【投資信託預かり資産残高上位20銘柄】

	ファンド名
1	しんきんJリートオープン(毎月決算型)
2	しんきんインデックスファンド225
3	明治安田米国中小型成長株式ファンド
4	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)
5	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)
6	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3か月決算型)
7	新光 US-REIT オープン
8	三井住友・NYダウ・ジョーンズ・インデックスファンド(為替ノーヘッジ型)
9	三井住友・グローバル・リート・オープン
10	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)
11	しんきん好配当利回り株ファンド(3か月決算型)
12	しんきんアジアETF株式ファンド
13	たわらノーロード 先進国株式
14	ダイワ・インド株ファンド
15	ニッセイ/パトナム・インカムオープン
16	たわらノーロード 日経225
17	ゴールド・ファンド(為替ヘッジなし)
18	しんきん世界アロケーションファンド
19	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)
20	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)

(共通KPI)投資信託預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

[用語の説明]

項目	説明
コスト	投資家が取引を行う際に支払う費用のことです。投資信託の費用で主なものは、購入時（販売・申込）手数料、信託報酬、信託財産留保額の3つです。
リスク	資産が減少する危険性のことです。投資に対する高い収益率を目指すと、高いリスクを取ることとなります。
リターン	投資に対する収益率のことです。投資信託の場合は、ファンドが生み出した収益を利回りに換算したものです。
コスト・リターン	投資に対する収益率と、投資を行う際に発生する費用との関係を表したものです。投資信託預かり資産残高上位20銘柄を対象としてマッピングしています。
リスク・リターン	投資に対する収益率と、資産が減少する危険性との関係を表したものです。投資信託預かり資産残高上位20銘柄を対象としてマッピングしています。

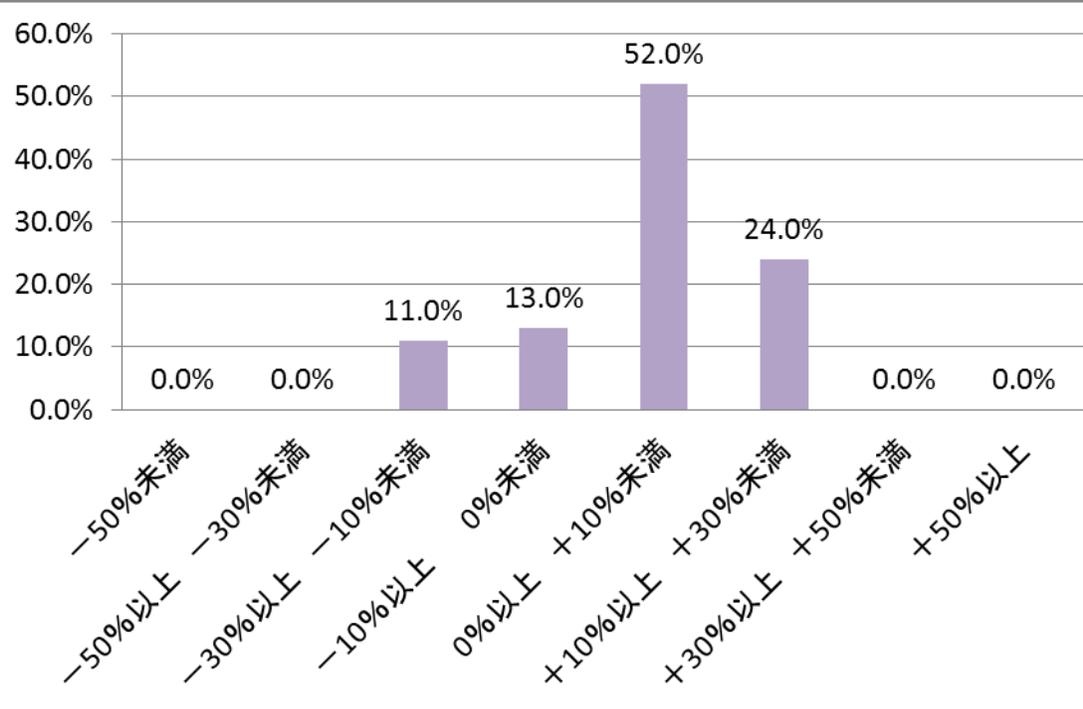
<成果指標算出基準>

1. 基準日：2024年3月末時点
2. 対象ファンド：投資信託預かり資産残高上位20銘柄
3. コスト：（販売時手数料÷5）+信託報酬（年率）
4. リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用
5. リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

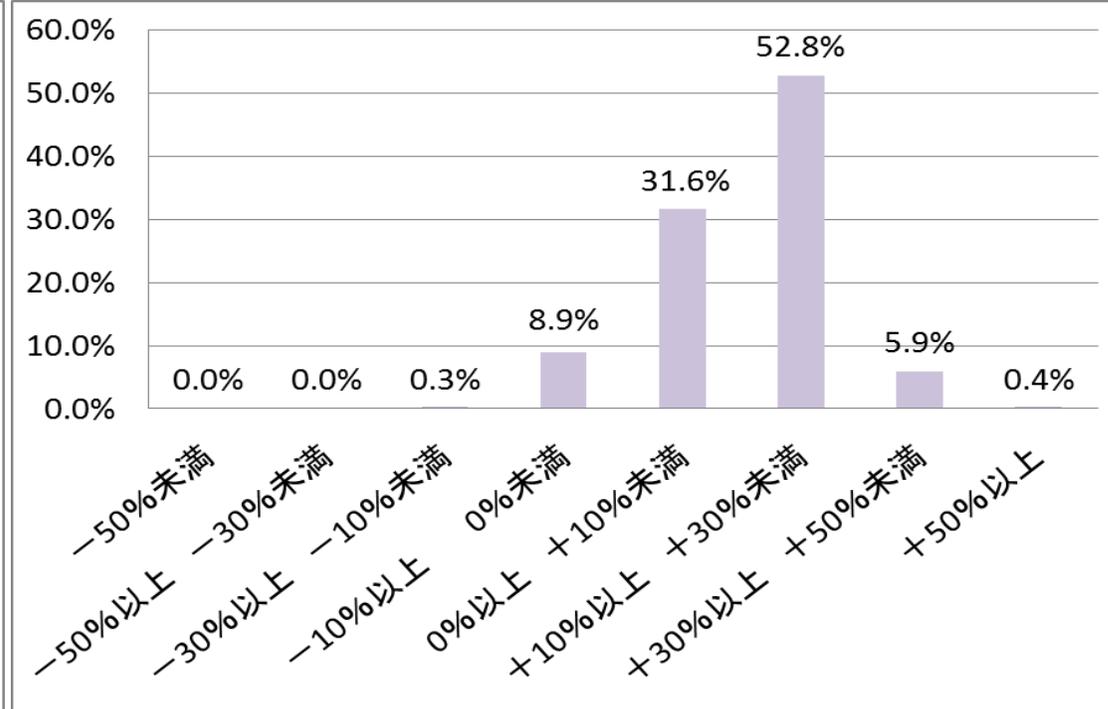
共通KPI(外貨建保険)③

(共通KPI)外貨建保険の運用評価別顧客比率

外貨建保険運用損益別顧客比率 (2023年3月末)

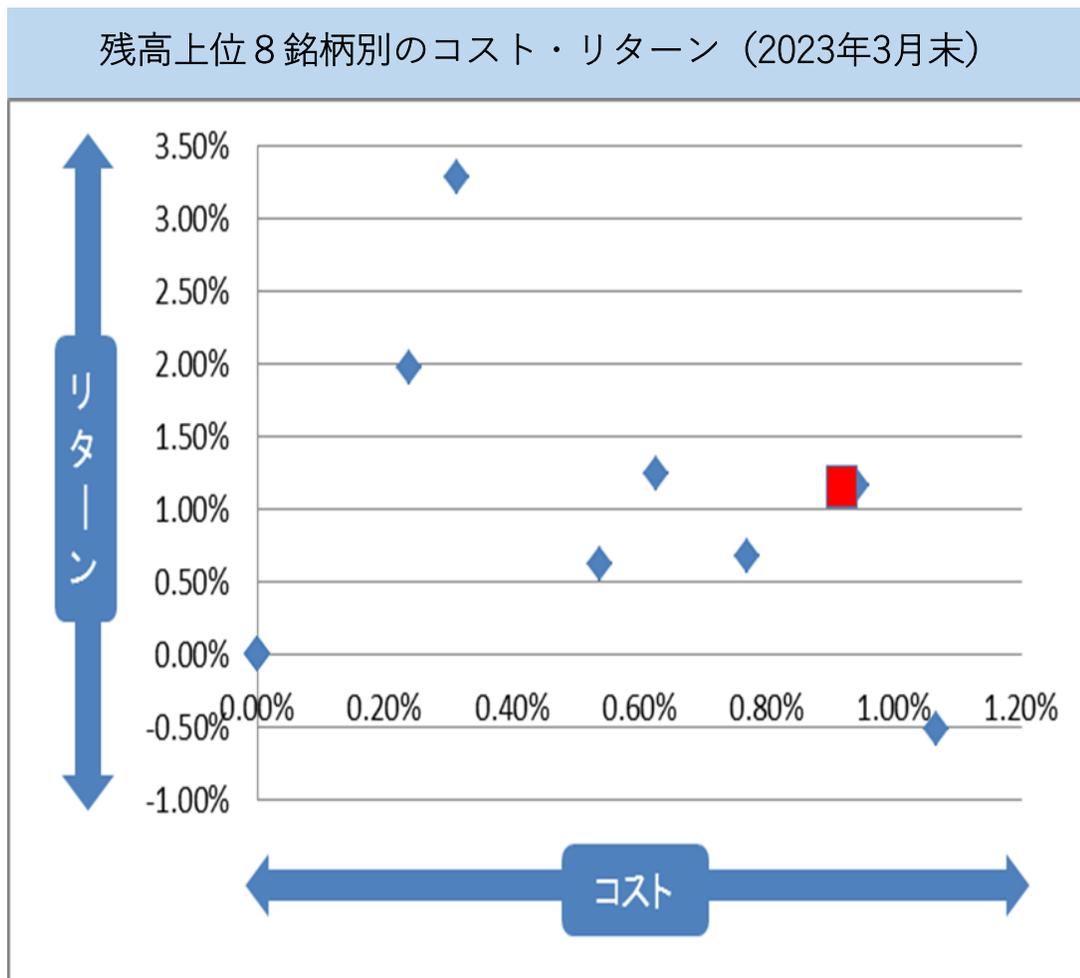


外貨建保険運用損益別顧客比率 (2024年3月末)



- ・対象のお客さま：基準日時点に外貨建一時払保険を契約している個人のお客さま
- ・対象のご契約：当金庫が保険募集を行ったご契約 [基準日時点でご解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約(据置期間の契約も含む)は除外]
- ・対象商品：基準日時点で対象のお客さまが保有している外貨建一時払保険商品
- ・運用損益率：基準日の解約返戻金額 + 基準日の既支払金額 - 契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算) を契約時点の一時払保険料 (円換算) で除して算出

(共通KPI)外貨建保険の残高上位8銘柄別のコスト・リターンおよび取扱銘柄

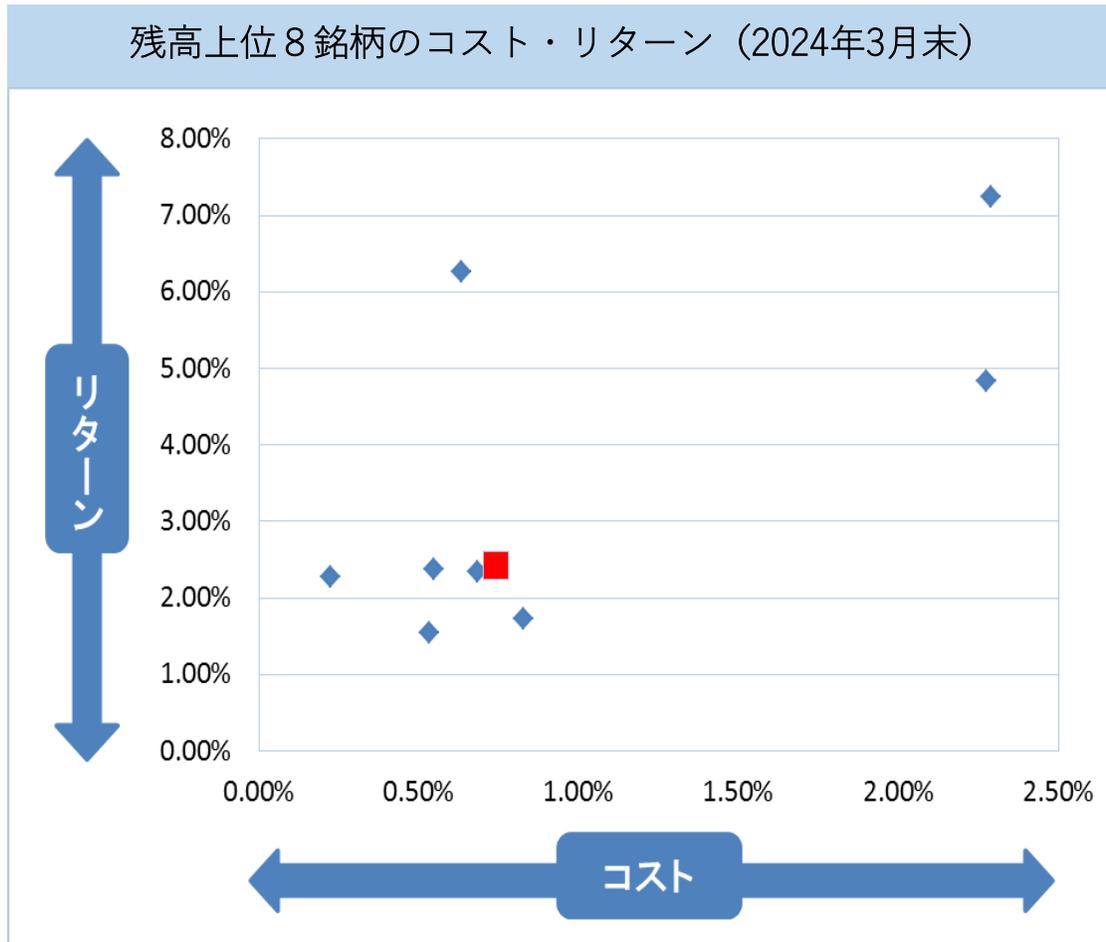


銘柄		コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD ※	0.94%	1.16%
2	ライフロング・セレクトPG3 ※	0.77%	0.67%
3	アドバンテージ・セレクトPG ※	0.31%	3.28%
4	ロングドリーム ※	0.54%	0.62%
5	ライフロング・セレクトPG2 ※	0.63%	1.24%
6	スリースターズ プラス W ※	1.07%	▲0.52%
7	スリースターズ ネオ ※	0.24%	1.97%
8	夢のプレゼント ※	0.00%	0.00%
	加重平均値	0.97%	1.15%

※現在は取扱いしていません。

共通KPI(外貨建保険)③

(共通KPI)外貨建保険の残高上位 8 銘柄別のコスト・リターンおよび取扱銘柄



銘柄		コスト	リターン
1	ライフロング・セレクトPG 3 ※	0.68%	2.35%
2	ロングドリームGOLD ※	0.83%	1.72%
3	ライフロング・セレクトPG 2 ※	0.55%	2.38%
4	アドバンテージ・セレクトPG ※	0.53%	1.55%
5	夢のプレゼント ※	0.63%	6.26%
6	スリースターズ プラス W ※	0.22%	2.28%
7	たのしみグローバル (定率) ※	2.28%	4.83%
8	たのしみグローバル (指数) ※	2.29%	7.25%
	加重平均値	0.74%	2.45%

※現在は取扱いしていません。

(共通KPI)外貨建保険の残高上位8銘柄別のコスト・リターン

[用語の説明]

項目	説明
対象契約	保険契約開始から5年以上経過した契約です。
対象銘柄	外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から5年以上経過した契約が存在する銘柄です。
コスト	各契約のコスト率について、保険会社が支払う代理店手数料のうち、新契約手数料を基準日までの契約期間(月単位)で除したものと年間の継続手数料率を使用することで算出し、各契約のコスト率を、各契約の契約時点の一時払保険料(円換算)で加重平均します。
リターン	各契約のリターン率について、(基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料)÷(契約時点の一時払保険料)を年率に換算し、各契約のリターン率を、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均します。(いずれも円換算)
加重平均値	コスト、リターンともに、個別銘柄の対象となる契約にかかる基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額の合計額で加重平均します。

- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。